

こんなところに大使館があった!!

“秘密の花園”

トーゴ共和国大使館

訪問



ジュルス カンコエ アデュアヨム
Jules Kankoe ADUAYOM

トーゴ大使館に着いてすぐに、笑顔で出迎えてくれたジュルス・カンコエ・アデュアヨムさん。

トキワ松学園の国際交流部はトーゴ共和国大使館（以下、トーゴ大使館）とも交流があり、トキワ祭（p.18-19）でもトーゴ大使館との支援協力について結果が発表されていましたが！大使館に取材をしてみたいと思った私たちは、目黒区八雲にあるトーゴ大使館を取材して来ました。

そもそも、トーゴってどこにあるの？大使館ってどんな仕事をしているの？そんなところからスタートした私たち。今回のテーマ「Hide&Seek」にかけて、編集員6人がトーゴ共和国や大使館の隠れた秘密を探ってきました！

取材してみるとトーゴ共和国には衣食住など日本と違うことがたくさんあって本当に驚く事がたくさんありました！その他にも私たちの知らない文化がいろいろあって勉強になりました！

また取材に答えてくださった広報の方も、明るい性格の持ち主で楽しく取材できました！そんな、和気あいあいとした雰囲気の記事から少しでも伝わればいいと思います！ぜひ、読んでみてください！



- ・面積：56,785 平方キロメートル
- ・首都：ロメ
- ・通貨：CFA フラン
(1円=6CFA フラン)
- ・人口：約7,552,000人
- ・公用語：フランス語
(元フランスの植民地)

トーゴ大使館とは？

皆さんは大使館と聞くと、どのような場所をイメージしますか。豪邸、エリート、行ってみたいが近寄りたがたい、またはイメージがわからないという方が多いと思います。

私たちが取材に伺ったトーゴ大使館は、次のような場所でした。

●外見：大きな一軒家のようにしたが、思っていたよりも周りになじんでいて驚きました。

●建物内：高級なホテルのようであまり生活している様子が見えませんでした。

●役割：自分の国の理解を広めること。日本に住んでいるトーゴの人々を守ることです。

●最も力を入れていること：文化理解、お互いの国のことを良く知ってもらうための活動に力を入れています。

す。



▲トーゴ共和国は小学校から制服があって、ピンクのシャツ、青緑は私立、白服は公立の制服。日本の学校制度との違いは、中学校が4年間あることです。

▶バタマリア人の土地、クタマクにあるタキカンタと呼ばれる住居群。泥で作られている建物で、ユネスコの世界遺産のひとつになっている。



伝統的住居「タタ」



▲ジュルスさんと阿部さんの話を聞きながら、遠い西アフリカの国、トーゴ共和国に思いを馳せる編集員たち。

☆プレゼンの内容

写真などを使い、トーゴについて詳しく紹介してくれました。

■トーゴの産業について

主な産業は農業で、南国のフルーツが、他と比べ物にならないほど美味しそうです。

少ししか海に面していませんが、海が深いので、大型船が停まることで、便利です。

■日本とのつながり

トーゴでは、空手や柔道などをやり、日本の「武士道」に触れる機会が多いそうです。

また、トーゴの人々が利用している車や電化製品などの約6割が日本製だそうです。

■文化について

約45の部族にわかれていて、それぞれの部族にそれぞれの文化があり、みんな違う文化です。でも、だいたい部族がお祭り好きで、一年中お祭りムードだそうです。



◀トーゴで使われている紙幣。魚のように見えるものは、お金を表す単位のマーク。